

スタリーン女史来日

私たちが支援するソマリアの女性グループのNO.2スタリーン女史が、12月初め国際会議で初来日したため、東京のメンバーを中心に7名がスタリーン女史に会い交流の場をもちました。その時、彼女は現在のソマリアの様子や置かれている彼女たちの状況を話してくれました。

8月にできた新政権は、リビア・シリア・イエーメン等イスラム原理主義国家の影響を強く受けている。イスラム原理主義では、女性は黒いベールを被って家庭にいれば良いと教えている。そのため女性たちの活動は余り歓迎されません。彼女たちにも圧力が加えられましたが、私たちの支援で建設したコーラン学校を見せて、彼女たちの活動は親イスラム的であることを理解してもらった。

新政権はできたものの、既存勢力との衝突も絶えず、比較的平穏な地方都市にも難民が流入し、人口が大きく膨れ上がりました。町の中には戦争孤児も増え、彼女たちは食糧支援を孤児たち(120人)にしています。

(スタリーンは立派に完成した4校目の学校の写真を持ってきてくれました。)

<立派な4校目の学校>

<来日したスタリーン女史と>



<編集後記>

謹賀新世纪

スタリーンとの交流はわずか二日間でしたが、大変意義深いものとなりました。二日目には、ハトバスで東京観光をしましたが、浅草が大変気に入ったようです。旧年中のご支援に感謝申し上げます。本年は、5校目の学校建設をスタートします。本年もよろしくお願いいたします。